

## 世界の人とふれあいタイム

2011年4月17日(日) 実施

今回のゲストのケアキネン・テイヨさんは、両親が宣教師で30年以上前に家族とともに来日しています。現在は奥さんと埼玉にお住まいで、日本人以上に日本語が上手でした。

さて、フィンランドの人口は東京の約半分で、面積は日本の面積から九州を除いた大きさと同じです。人口密度は1km<sup>2</sup>あたり17人で、日本の約1/19です。フィンランド人はシャイ

な人が多く日本人とよく似ていて、また日露戦争の関係で親日派も多いそうです。

歴史を振り返ると1809年にスウェーデン＝フィンランドは分割され、東半分は帝政ロシアによる同君連合のもと準自治のフィンランド大公国を構成しました。ユーロ導入前のフィンランド通貨は「マルッカ」で、フィンランドが独立する半世紀前の1860年に制定されました。1906年、フィンランドの女性はヨーロッパで初めて普通選挙権を獲得したばかりか、世界で初めて国会議員の被選挙権を得てきていて、現在の首相も女性です。なお言語は90%以上がフィンランド語ですが、公務員になるには、スウェーデン語も必要です。



気候に関しては南側の冬は札幌と同じですが、北側は-40℃になることがあります。ただし冬でも部屋の温度は18℃～24℃に保たれ、生活するには、かえって日本より暖かいです。ラップランド

に位置する北側の夏は短いですが、南側は5月～8月の4ヵ月です。夏は1時間以上かかる所を、冬は湖畔に氷が張り、近道が出来るため僅か15分で移動できるそうです。



産業については、50年代は農業でしたが、現在はコンピュータ、携帯電話、ハイテク産業が主流です。企画、研究開発及びマーケティングに専念し、今は自社工場を持たないノキア等は、昔はゴム産業でも有名であり、その変化は国全体の時代に伴う進化を象徴します。昔多かった農業及び林業は、以前より重要度が減っているものの、土地の面積の8割を覆う森林は今もヨーロッパの木材輸出量を可能にしています。

教育に関しては、学校では子供の興味を引き伸ばすのが先生の役割で、日本みたいに偏差値や順位をつける事は禁止されています。なお、生きた教育を促進するために教育計画は画一的なルールがひかれておらず、現場の先生に任されています。また国からの補助があり、何年か仕事に専念してきた大人の方でも勉強を続けたり、あたらしい研究を始めたりする事が出来るシステムが確立されています。

最後に、雪国フィンランドを旅行するには、穏やかで



テイヨさん

明るく自然豊かな夏がベストとの事でした。国立公園では無料で泊まれる小屋も用意されています。航空運賃も最低7万円台から買えるそうです。さあ皆さん、フィンランドに出かけませんか？

世界の人とふれあいタイム委員会: 生山 龍哉

### パネルディスカッション報告

実施日時: 平成23年3月13日(日) 14:00～16:00

パネリスト: 田ノ上雪霞さん(中国)

マッシモ スッチ さん(イタリア)

ニック ファロー さん(イギリス)

牧野 ウーヴェ さん(ドイツ)

テーマ: ～異文化の人々の思い～

「日本に住んで嬉しかった事、困った事」



左から  
田ノ上 さん  
スッチ さん  
ファローさん  
牧野 さん

#### <嬉しかった事>

田ノ上さん: 多くの日本人と出会い、その優しさが嬉しかった。

スッチさん: 日本人がイタリアのことを良く知っているのはうれしい。メンタリティの違いはあるが、やはり日本人の優しさが嬉しい。

ファローさん: 交通機関がとても正確に運行されていること、またとても安全であることが嬉しい。

牧野さん: 和食が健康に良い。交通機関が正確であり、日本製品のアフターサービスが良い等々、日本の良い点が沢山あり、たまにドイツに帰るとカルチャーショックがある。

#### <困ったこと>

田ノ上さん: 日本では平日に休みを取りにくいという事情があるのに、病院、郵便局、公共機関などが日曜日に休みになってしまうので、大変不便を感じた。

マッシモさん: 子供が学校でいじめにあい、先生に相談してもその役割を放棄しているとしか見えず、とても理解できなかった。

日本人と友人になるのに時間がかかる。

子供が学校で過ごす時間が長く、1日中、学校にいて、親と過ごす時間少ない。

ファローさん: 教えている学生が明らかにメンタルな病気を持っていると思われたので、学校に報告しても正面から問題に向き合おうとせず。「いや問題ありませんから」と言われてしまう。とても理解出来ない。建前論で話す。本音の議論が出来ない。

牧野さん: 何か問題があるとすぐに対策委員会が出るのが問題の解決にならない。

「国際化」「国際化」と言い過ぎる。英語教育に時間をかけている割には、教育が役に立っていない。